

資料 2

平成 23 年 11 月 25 日

佐賀県立高等学校生徒減少期対策審議会
会長 様

佐賀県教育委員会
教育長 川崎 俊広

今日、我が国では、科学技術の発達をはじめ、グローバル化、高度情報化、少子・高齢化やこれらに伴う産業構造の変化など、教育を取り巻く社会情勢が急激に変化しつつある。

また、高等学校においては、生徒の適性や能力、興味・関心、進路などにおいて、ますます多様化の傾向にある。

そのような中、本県では、時代の変化に対応した教育の充実を図るため、平成 14 年の佐賀県立高等学校再編整備審議会答申を踏まえ、県立高等学校の再編整備・振興を図り、特色ある学校づくりを推進してきたところである。

一方、少子化に伴う生徒数の減少は、今後もさらに続き、平成 29 年度までの緩やかな減少傾向の後、平成 30 年度以降は急激に減少することが見込まれる。このような長期の生徒減少期を迎えるに当たって、現在の県立高等学校の配置のままで対応していくと、学校の規模が今以上に縮小し、学校の活力や教育効果等の面で、様々な課題が生じるのではないかと懸念される。

こうしたことから、長期的・全県的な視野に立って、県立高等学校の望ましい規模、配置等について検討する必要がある。また、新しい時代を担う人材を育成する観点から、高等学校教育の一層の充実に向けて県立高等学校の活性化を図る必要がある。

そこで、社会の変化や今後の生徒減を見据えた県立高等学校教育の充実・発展について、創意ある意見を求めるため、本審議会を設置し、下記の事項について諮問する。

記

今後の更なる生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実・発展に資する対策について

- 1 生徒減少期に対応した県立高等学校の望ましい規模、配置等について
- 2 生徒減少期に対応した県立高等学校の活性化について